

第61期決算公告

東京都港区芝五丁目20番6号
丸紅リアルエステートマネジメント株式会社
代表取締役 吉田 隆太郎

貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
流動資産		8,456,614	流動負債		2,456,335
現金及び預金	53,645		営業未払金	475,589	
営業未収入金	526,025		未払金	306,629	
貯蔵品	57		未払費用	105,583	
前払費用	215,913		未払住民税及び事業税	37,269	
未収入金	46,200		未払消費税	66,814	
立替金	57,546		前受収益	370,795	
諸預け金	7,557,226		預り金	932,586	
			賞与引当金	161,066	
固定資産		4,242,038	固定負債		2,835,599
有形固定資産		2,527,345	受入敷金保証金	2,533,203	
建物及び付属設備	2,098,829		損害補償損失引当金	127,503	
構築物	1,230		資産除去債務	92,926	
機械装置	7,746		長期前受賃料	43	
器具備品	22,476		退職給付引当金	76,523	
土地	397,063		役員退職慰労引当金	5,400	
無形固定資産		31,896			
電話加入権	1,702				
施設利用権	807				
ソフトウェア	29,385				
投資その他の資産		1,682,797			
投資有価証券	25,487		株主資本		
関係会社株式	240,599		資本金		100,000
長期前払費用	4,639		資本剰余金		5,325,836
長期貸付金	40,384		資本準備金		
従業員貸付金	9,840		その他資本剰余金	5,325,836	
破産更生債権等	3,839		利益剰余金		1,980,882
敷金及び保証金	1,041,774		利益準備金	25,000	
その他	49,257		その他利益剰余金	1,955,882	
貸倒引当金	△ 3,839		繰越利益剰余金	1,955,882	
繰延税金資産	270,812				
			純資産合計		7,406,719
資産合計		12,698,653	負債・純資産合計		12,698,653

<注> 記載金額は、千円未満を切捨て表示しております。

個 別 注 記 表

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

関連会社株式については、移動平均法による原価法を採用しております。

その他有価証券

その他有価証券(時価のないもの)については、移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、耐用年数については、自社利用のソフトウェアは社内における利用可能期間(5年)、また施設利用権は利用可能期間(20年)としております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上することとしております。

賞与引当金

従業員に対して翌期支給する賞与の支払いに備えるため、当期の負担すべき支給見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期に発生していると認められる額を計上しております。

当社は、2014年6月1日に実施した丸紅コミュニティ株式会社との事業統合に伴い、2015年6月1日付で確定企業給付年金規約を変更し、規約の変更に伴う退職給付債務の減額につきましては、過去勤務費用にて認識しております。当該過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、各期の発生時の従業員の平均残存期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生時の翌期から費用処理することとしております。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員に係る役員関係内規に基づく期末要支給額を計上しております。

損害補償損失引当金

業務に係る係争を含めた損害補償の支払いによる損失に備えるため、将来発生することとなる損失を見積り必要と認められる金額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

5. 追加情報

関連会社株式の評価の見積りに当たっては、新型コロナウイルスの感染拡大による直接的影響を考慮して見積を行っております。評価の見積りに用いた将来事業計画は、運営戸数の新規獲得数、平均稼働率、平均客室単価等を主要な仮定とし、新型コロナウイルスの感染拡大について、翌事業年度下期より徐々に回復するものの、1年程度は影響が残ることを想定して策定しております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額 4,233,919 千円

2. 保証債務等

以下の会社の金融機関からの借入に関して債務保証を行っております。

株式会社グランドウース	300,000 千円 ※
計	300,000 千円

※300,000千円については、親会社である丸紅㈱の保証債務に対し当社が再保証しているものです。

3. 関係会社に対する金銭債権・債務

短期金銭債権	8,463 千円
長期金銭債権	4,403 千円
短期金銭債務	32,422 千円
長期金銭債務	67,603 千円

4. 担保に供している資産は該当ございません。

但し、現金25,000千円を宅地建物取引業の供託金として供託しております。

5. 確定給付型の制度として確定給付企業年金制度を設けております。

退職給付債務等の内容は以下の通りであります。 (単位：千円)

退職給付債務	△ 846,204
年金資産	750,310
未積立退職給付債務	△ 95,894
未認識数理計算上の差異	68,866
未認識過去勤務費用	△ 49,495
退職給付引当金	△ 76,523

要拠出額を退職給付費用として処理している複数事業主制度に関する事項

当社は、複数事業主制度である丸紅連合企業年金基金に加入しています。

丸紅連合企業年金基金

(1) 積立状況に関する事項(2019年3月31日現在)

年金資産の額	13,171 百万円
年金財政計算上の給付債務の額	13,930 百万円
差引額	△ 759 百万円

(2) 制度全体に占める当社の掛金拠出割合(2020年3月31日現在)

3.010 %

(3) 補足説明

上記(1)の差引額の主な要因は、年金財政計算上の過去勤務債務残高5,480百万円及び別途積立金4,722百万円です。本制度における過去勤務債務の償却方法は期間20年の元利均等償却であります(2019年3月31日時点で残余償却期間11年9ヶ月であります)。

万一、繰越不足金発生の場合は財政再計算に基づき必要に応じて特別掛金を引き上げる等の方法により処理されることになります。なお、特別掛金の額はあらかじめ定められた掛金率を掛金拠出時の標準給与の額に乘じて算定されるため、上記(2)の割合は実際の負担割合とは一致していません。

(税効果会計に関する注記)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産 (単位：千円)

賞与引当金	55,712
退職給付引当金	26,469
損害補償損失引当金	44,103
未払事業税	11,241
繰越欠損金	542,741
減価償却超過額	37,830
その他	108,568
小計	826,664
評価性引当額	△ 339,465
繰延税金資産の総額	487,199

繰延税金負債

繰延税金負債の総額 216,386

繰延税金資産の純額

270,813

(関連当事者との取引に関する注記)

(単位：千円)

属性	会社の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容 *1	取引金額	科目	期末残高
親会社の子会社	丸紅 フィナンシャル サービス㈱	なし	資金の貸付	資金の貸付	△ 34,378	諸預け金	7,557,026

(*1) 価格その他の取引条件は、市場の実勢価格等を勘案して交渉の上で決定しております。

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額	250.27 円
2. 1株当たり当期純利益	26.03 円

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(当期純損益金額)

当期純利益 770,505 千円